

編集後記

(63巻 第11号 2017年11月)

また編集後記の話題がなくなったので、来年の京都での総会について、その特徴を紹介することにします。

来年の日本泌尿器科学会総会はアジア泌尿器科学会(UAA)との共同開催となります。まず、アジア泌尿器科学会が4月17日(火曜日)の夕刻から、オープニングセレモニーとウェルカムレセプションにて先にスタートすることになっています。しかし、実はその前の4月15日(日曜日)から、2日半のAsian Urological Resident Course(AURC)というレジデント(後期修練医)用のコースがすでにスタートしています。このAURCは米国泌尿器科学会(AUA)の協力を得て毎年開催されている教育プログラムで、各UAA参加国から2~3名のレジデントが推薦されます。推薦レジデントに対しては、宿泊費も含めてUAAが費用を負担するので、興味のあるレジデントは是非応募して下さい(近日中に募集が始まると思います)。また、推薦を持たないレジデントも、有料でこのコースに参加できることになっています。

次号からは、UAA初日のプログラムについて紹介する予定です。

(小川 修)